

下水道事業会計
主な収益の推移

(単位:千円)

項目	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 当初予算	令和8年度 当初予算	前年度増減
下水道使用料	※ 5,621,537	6,155,875	6,026,390	5,937,519	※ 5,711,021	△ 226,498
雨水処理負担金	4,061,665	4,160,876	4,138,788	4,415,366	4,559,339	143,973

※ 令和4年度及び8年度は、基本使用料の減免を実施

下水道事業会計

尼崎市の下水道

着手時期	昭和 28 年
人口普及率	99.9 %
整備面積	4,055 ha
雨水排水能力	18,421 m ³ /分
汚水処理能力	199,800 m ³ /日
有収水量	52,622,000 m ³ (前年度比 +0.6%)
処理場・ポンプ場	東部浄化センター(西松島町 32) 供用開始：昭和 57 年 北部浄化センター(東園田町 7-82) 供用開始：昭和 57 年 9 ポンプ場 供用開始：昭和 37 年～平成 5 年

- (1) ストックマネジメント手法を取り入れた施設の維持管理 4,955,648
公営主要 インフラ施設の老朽化が大きな社会課題となる中、ストックマネジメント (2,959,322)
P13 手法により、効率的に老朽化した施設の更新や修繕を行うことで、安全性の確保や事業費の平準化を図る。
・下水道管路の老朽化対策 事業費 2,083,231
管更生工事 約 1.2km 等
・ポンプ場・処理場の老朽化対策 事業費 2,872,417
大庄、尾浜中継ポンプ場自家発電設備改築工事
中在家中継ポンプ場管理棟沈砂池設備改築工事 等
債務負担行為(8年度提出分) 金額 2,993,082



下水道管路の全国特別重点調査

- (2) 雨水ポンプの能力増強・雨水貯留管の整備 359,461
公営主要 気候変動により強くなる雨の降り方や都市化によって浸透しにくくなる地 (818,456)
P14 面への対応を考慮し、浸水対策としてポンプの雨水排水能力の増強や雨水貯留管の整備に取り組む。また、浸水による下水道機能の停止を防ぐため、施設の耐水化を図る。
・雨水貯留管の整備に係る調査、設計
・富松中継ポンプ場雨水ポンプ設備改築詳細設計業務委託
・耐水化工事(北部浄化センター及び高田、大庄、尾浜中継ポンプ場)

- (3) 施設の耐震化・マンホールトイレの設置・BCPの充実 400,988
公営主要 下水道の機能を保ち、災害時の影響を最小限に抑えるために、建築構造物 (722,079)
P15 や土木構造物の耐震化を進めるとともに、避難所となる小・中・高校を対象としたマンホールトイレの設置による地震対策等を講じることで、災害対応力の強化を図る。
・下水道施設の耐震診断及び耐震設計業務委託
・マンホールトイレの設置、設営訓練の実施
令和 8 年度設置予定校
武庫北小学校、中央中学校、小園中学校、大庄中学校、
塚口中学校、園田東中学校 計 6 校



マンホールトイレ

(4) **民間事業者等との連携を考慮した体制の構築** 192,701
 公営主要 (47,080)
 P16～17 持続可能な下水道事業を運営していくため、新たな官民連携手法である下水道ウォーターP P Pを導入し、課題解決に取り組む。東部雨水ポンプ場の建替えについても、民間のノウハウを活かした建替えを実施し、コストの縮減や工期の短縮を図る。

- ・下水道ウォーターP P Pの導入（予定契約期間 10 年間）
 発注支援業務を活用した実施方針（案）等の作成、事業者の公募
- ・東部雨水ポンプ場の建替え
 建替えに向けた関連計画の変更、実施方針（案）等の作成

債務負担行為（8 年度提出分）金額 11,256,000

(5) **広報・広聴** 12,319
 公営主要 (4,278)
 P19 お客さまの日常生活において欠かすことのできない下水道について、身近に感じて興味、関心をもって自分事としていただけるよう様々な広報手段を用いて広く発信する。

- ・「ウォーターニュースあまがさき」と「市報あまがさき」の一体化による広報の充実
- ・「市制 110 周年記念ロゴ」デザインマンホールの作成・設置
- ・「わがまち下水道マンホール」プロジェクトの始動 等



「市政 110 周年記念ロゴ」
 マンホール（イメージ）

(6) **流域下水道整備事業** 461,002
 兵庫県が事業主体となって効率的、経済的に運営を行う流域下水道の整備・改築事業に係る費用を負担する。 (346,330)

施行主体	兵庫県
関係都市	尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市
事業費	4,493,321
関係都市間の尼崎市負担割合	
管路、ポンプ場	48.5%
処理場	44.7%



武庫川下流浄化センター
 供用開始：昭和 51 年